

## 教育委員会 平成 26 年度 9 月定例会の概要

○日時 平成 26 年 9 月 17 日 (水)  
9 時 30 分開会 10 時 24 分閉会

○場所 鎌倉市役所 講堂

○出席委員 山田委員長、下平委員、朝比奈委員、齋藤委員、安良岡教育長

○傍聴者 2 人

○本日審議を行った案件

### 1 報告事項

- (1) 委員長報告
- (2) 教育長報告
- (3) 部長報告
- (4) 課長等報告

ア 史跡鶴岡八幡宮境内(段葛)の史跡整備事業の実施について

イ 歴史的風致維持向上計画の策定に向けた取組状況について

ウ 行事予定(平成 26 年 9 月 17 日～平成 26 年 10 月 31 日)

### 山田委員長

定足数に達したので、委員会は成立した。これより 9 月定例会を開催する。

本日の会議録署名委員を下平委員にお願いする。

課長等報告で「歴史的風致維持向上計画の策定に向けた取組状況について」があるが、この件について、事務局から市長部局の歴史まちづくり推進担当職員を出席させたい旨の申し出があったので、これを了承し、出席させている。

### 1 報告事項

- (1) 委員長報告

### 山田委員長

9 月は重陽の節句があり、これから秋の味覚も非常に豊かになって、いい季節を迎える。先週の全米オープン錦織選手の日本人初のグランドスラムの準優勝という活躍が、最近では非常に心に残っている。瞬発力やスタミナ、冷静さ、いろいろなものを兼ね備えて、今まで日本人は手が届かなかったところに、こうしていろいろな努力を積み重ねて達成されたという

のは、子どもたちにも大きな励みになったのではないかと感じた。

先月の女子バレーも大変な活躍で、優勝かというところまでいった。スポーツで活躍している大人の姿を、子どもたちが全身全霊で応援している姿を見て、大人の背中を見せるというのは大切だと感じている。

9月1日に臨時教育委員会を開催した。

9月10日には、七里ガ浜小学校を委員全員で訪問した。昭和51年に稲村ヶ崎小学校から分離して39年経って、今は1クラスも25人以下という非常に落ちついて目の届く状況のようである。昨今はいじめという言葉に児童も保護者も非常に敏感になっていて、その対応に気を配られている様子だった。特に、加害者と被害者双方の親が納得して、理解の相違がないように、管理職と担任の先生が非常に連携をとってやっているというお話だった。

私は1年生と給食をご一緒させていただいた。ほとんど全員がダッシュし、長蛇の列を作っておかわりをしていた。ただ、献立を把握していない様子で、今日は何かしらと言ったら、プリントがおうちにあるから分からないとか、見ても鶏肉であることも分からない様子だったので、自分が食べているものが何かということぐらいは把握しようという話をした。また、汁物と御飯の位置が左右逆だったり、お箸の使い方はいつも感じているようなことがあった。

その後、委員の間で話したが、やはりご飯給食に牛乳はなかなか抵抗があって、お茶のほうが適切という話も出ていた。朝食を召し上がれない方もいらっしゃるようなので、2時間目の後だとか、ちょっとした中休みに牛乳を飲んだほうがいいのではないかという話も出ていた。また、牛乳パックの処理も非常に時間がかかる。リサイクルにはとてもいいが、結構水を使うので、その意味でどうなのかというお話もあった。

## 下平委員

学校見学で各クラスを回ったが、子どもたちが元気いっぱい「こんにちは」と挨拶してくれたのが大変印象的だった。校長先生が地域との連携に非常に力を入れていらっしゃるということで、いろいろな方々との連携がうまくいっているということも伺った。

また、広町を活用したキラキラタイムというのを活用しているということで、広町に子どもたちが自由に伸び伸びと遊びに行く時間なども大切にいらっしゃるそうである。

一方、この時期はスズメバチの被害が心配だということで、そのことに対しても配慮が必要ということだった。

## 齋藤委員

校長先生が、伝え合う子どもたちを育てる、心を育てるというお話をしてくださったが、それが各クラスに行き渡っていると感じた。

私たちが訪問して玄関に行った時も、本当に元気のいい挨拶を何人かの子どもがしてくれた。心を育てるということは、お客様に対しても、心が届けられるのだという良さも感じた。

校長先生は、目標や目当て、学校の方針を考えていく際に、あえて課題という名のもとに取り組んでいると。一つ一つに対して熱心に取り組まれ、教職員にもそれが伝わっていき、より良い方向に学校経営がなされる。また、保護者との連携の大切さというのを感じる事ができた。

## 朝比奈委員

給食は、照り焼き丼で、おかずが御飯の上に乗っていて、後は、お汁があるだけ。和食文化を給食にきちんと取り入れているとするならば、おかずは御飯に乗せず、もう一品としてお皿に別にして、ご飯が左でお汁が右という、きちんとした並べ方をする。せっかく「いただきます」と言って手を合わせていただくわけだから、先生がそこまでちゃんとチェックして始められないのかと感じた。

「いただきます」という言葉を言う以上は、いろんな人の手を煩わせて出てきた大事なものの、いろんな命をいただくということの大切さを知る大事なときでもあるので、そこをさらに深めていっていただきたいと思う。

学校はすごくきれいで、お掃除も行き届いていて、先生方の目がきちんと届いているのがよく分かった。お手洗いやも比較的新しく、改修されてきれいだった。鎌倉市は小学生に掃除はさせないけれども、汚してしまったときに、きれいなお手洗いやならまずいと思うかもしれないが、古いままだと平気でそのままにしている子もいるかもしれないので、できれば、どんどん設備を整えてあげたいというも感じる。

## 山田委員長

先月、私事だが、アンコールワットに行ってきた。ちょうど鎌倉時代に相当する時期の世界遺産ということで、興味深く視察してきた。中でもアンコール・トムは、当時の政権跡、都の跡だが、当時の姿をほぼ残し、とてもいい状態で残されていた。そこに集まる世界中の人々がどれだけ感銘を受けているのかが、一緒に歩いていて、よく感じられるすばらしい遺跡だった。本当に圧倒されて、鎌倉がICOMOSから物的証拠の欠如を指摘されている中で、アンコールのスケールの大きさとか保存状態のよさ、そして景観の保存状態、ガイドの語学力、知識の豊富さが、すばらしいと思った。

また、周囲の観光施設の充実だとか、空港等の整備など、ものすごくレベルが高いと感じたし、鎌倉市はそれに比べると、まだまだいろいろと考え直さなければいけないところがある。一概に比べられないし、いろんな政治情勢だとか経済情勢も違うが、一つの例として照らし合わせたときに、勉強になることは多々あると思った。

## (2) 教育長報告

### 安良岡教育長

前回の定例教育委員会でお示した行事については、各課とも順調にこの夏、取り組みができた。学校についても夏休み中、大きな事故もなく、2学期が始まったところである。

2学期は、この後、運動会が小学校では多くあり、中学校において体育祭、文化祭が控えていて、これから練習が多くなるのだが、ここのところ涼しい気候なので、今までみたいに暑い中での練習ではないので、少し安心をしているところである。

### (3) 部長報告

#### 教育部長

議会は9月3日から始まって、26日が最終日となっている。定例会一般質問、常任委員会が現在までに終了している。今日から、平成25年度の決算特別委員会が始まっている。

一般質問では、教育部関係では、教育環境の条件整備ということで、普通教室への空調設備の件、学校配当予算の件、公共施設の再編計画に沿って、学校施設の課題、整備の問題について質問があった。

常任委員会では、不調となった大船中学校の改築工事入札の増額補正、御成小学校の旧講堂の調査委託、同じく御成小のプレハブの校舎、教科書改訂に伴う教科書指導書の補正という4本が、常任委員会の段階では可決となっている。

報告事項としては、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価、かまくら教育プラン、かまくらっ子の意識と実態調査、大船中学校改築の進捗状況、4本の報告をした。これについても、幾つかご質問があったが、全て了承をいただいている。

もう一点、教育委員会にも報告した御成中学校の敷地内の倒木の損害賠償について、本会議で可決され、これから損害賠償の手順を踏んでいく。

#### 文化財部長

一般質問については、歴史的風致維持向上計画の策定に向けた取り組みについて、段葛の整備工事について、段葛の階段部分に仮設のスロープを置いてくれないかという質問と、八幡宮の本殿に車椅子で行けるようなルートを確認していただきたいというような質問があった。

また、教育こどもみらい常任委員会、建設常任委員会、総務常任委員会、この三つの常任委員会に、歴史的風致維持向上計画の策定に向けた取り組み状況についてということで、報告させていただいた。委員の皆様からは、計画の仕組みや内容、どういうスケジュールで行くのかといった質問、計画づくりに当たっては市民を巻き込んでいく、社寺との連携もしっかりとしていただきたいという意見があった。

### (3) 課長等報告

#### 報告事項ア 史跡鶴岡八幡宮境内（段葛）の史跡整備事業の実施について

#### 山田委員長

報告事項のア「史跡鶴岡八幡宮境内（段葛）の史跡整備事業の実施について」報告をお願いします。

#### 文化財課担当課長

このたび、国指定史跡鶴岡八幡宮境内の参道である段葛について、史跡整備事業が実施されることとなった。この整備事業は、段葛の所有者である宗教法人鶴岡八幡宮が事業者となって実施するものであるが、段葛は地域住民の生活道、鎌倉観光における観光ルートとして利用されるばかりでなく、児童生徒の通学路としても重要な役割を担っていることから、報告するものである。

事業期間は、平成26年10月から平成28年3月までの約1年半。事業の内容については、桜の植替え、段葛の両側にある土手の玉石の積み替え及び補強、路面整備及び排水設備の設置等となっている。工事施工期間中は、段葛の全体に危険防止用の仮囲いが設置され、全面通行止めとなる予定となっている。

この整備の当初の計画では、現在36ヶ所ある段葛から県道への下り口が8ヶ所へ大幅に減少すること、段葛中央部分が階段となり車両の通り抜けが出来なくなること、バリアフリーは対応しないこと等となっているが、地域住民の要望等を受け入れ、ある程度計画を見直すことを検討すると聞いている。

文化財課としても、市民の要望等を極力伝えていきたいと考えている。

(質問・意見)

#### 下平委員

今、仮囲いということだったが、工事中、その両側の車道に全く影響は出ないのか。

#### 文化財課担当課長

仮囲いは県道のところに設置されるが、2車線ある県道には影響はないと聞いている。

#### 下平委員

鶴岡八幡宮側がすることなので、決定はそちらですのだけれど、先ほど文化財部長からの報告にもあったように、議員からバリアフリー化というのか、スロープをつけてほしいという要望が出ていたと。それに関して、対応する可能性があるということだったが、階段等だと登れない方についても、少し考えてくださるということなのか。

#### 文化財課担当課長

現在、中央部分については、緊急車両あるいは乳母車、車椅子等で通れるような計画変更をされていると聞いている。また、二の鳥居の階段については、スロープにした場合は傾斜が急になるということもあって、バリアフリーは考えてはおられないということである。

#### 文化財部長

議員から平成14年から度重なるご要望をいただいでいて、その都度、鶴岡八幡宮にお伝えしている。ただ、景観上の問題であるとか、本来の段葛の形状を考えるとスロープにする予定はないと。それと、本殿に向かうルートについては、右回りで行くルートは、以前スロープだったそうだが、雨が降って、ぬかるんで転倒する方がいるということで、今は階段状に

なっている。裏の駐車場から本殿に上がるルートもあるが、それは一部崖を背負っていて、防災上好ましくないということで、鶴岡八幡宮は現状のままでご案内しているといった状況である。

#### 山田委員長

先ほど玉石の積みかえというお話があったが、現状と同じ状態に、不安定なところを復旧させるということか。

#### 文化財課担当課長

見た目については現在と余り変わらないと聞いているが、玉石の高さが、一番高いところで60cmぐらい高くなると聞いている。それは、桜の植替えにあたり発掘調査をしたところ、遺跡が出てきた関係で、その遺跡を保護するためにかさ上げしないと、遺跡に影響が出るということで、一番高いところで60cm高くなると聞いている。玉石は現在、コンクリートでとめてあるが、それだと安定もしないので、ボルトでとめると聞いている。ただ、施工後は、それは目立たないような形になるということである。

#### 下平委員

先ほど通学路としても利用されていると出ていたが、主にどこの学校が影響を受けて、子どもたちにこの期間、どのような対応、注意をするのか。

#### 学務課担当課長

ほぼ御成小学校の学区で、通学路としては両サイドの通路と、あと段葛も基本的に通学路として認めていると、学校から話を聞いている。今回、そこの部分が使えなくなるということで、両サイドを基本的に使っていただいて、学校に行くという形になる。また、管轄は違うが、横浜国大附属小学校にも連絡をしていると文化財課から聞いており、同じような対応を図ればと考えている。

#### 山田委員長

清泉小学校もあるし、昨日も、たまたま駅前から段葛のあたりが非常に混んでいて、道も細いし、何か対応ができるといいと思う。

(報告事項アは了承された)

#### 報告事項イ 歴史的風致維持向上計画の策定に向けた取組状況について

#### 山田委員長

報告事項イ「歴史的風致維持向上計画の策定に向けた取組状況について」報告をお願いします。

## 歴史まちづくり推進担当担当課長

歴史的風致維持向上計画の策定については、平成27年11月末を目途に国の認定を受けることができるよう取り組みを進めているところだが、本日は8月末を目途に進めてきた本計画の骨子となる「鎌倉市における歴史的風致」と、歴史的風致の維持・向上に関する事業を実施する「重点区域」の検討状況について、説明する。

当該計画の策定にあたっては、歴史まちづくり法を所管する国土交通省、文化庁、農林水産省と、これまでに3回のヒアリングを行い、計画策定の進め方などに対する助言や指導を仰いできたが、三省庁からは、この計画の中核となる「歴史的風致」を優先的に検討するよう指示を受けているところである。

なお、歴史的風致の定義は、資料下段に参考として記載した第一条抜粋のとおりである。

鎌倉市の歴史的風致を考える上で、特に押さえておくべきポイントとしては、鎌倉の歴史的・文化的な大きな特徴である、鎌倉時代以来の伝統に育まれた社寺とその活動を軸とした江戸時代からの観光周遊や明治時代からの保養地としての発展、文人墨客による文芸活動などが、時代を超えて重層的に存在している点であると考えている。

こうした歴史的・文化的特徴を踏まえ、市では、市内での議論を重ね、歴史的風致のイメージづくりを行うとともに、まちづくり、中世史、建築史に関わる学識者及び観光協会等の関連団体、神奈川県等で構成するアドバイザー会議での意見交換などを通じて、歴史的風致の具体的な検討を行っている。

今後は、市民の意見を伺うため、ワールドカフェなどの場を設けるとともに、学識者等との意見交換や三省庁との協議を継続的に実施しながら、歴史的風致の具体化に向けて、更に議論を深めていく。

次に、重点区域に関する検討状況を説明する。重点区域とは、歴史的風致の維持・向上に資する事業を重点的かつ一体的に実施する区域をいうが、鎌倉市域においては、三方を山に囲まれた旧市街地に重要文化財等が多く所在していることから、このエリアを中心に、その範囲を検討していくものと考えている。

現在、市では、重要文化財等の位置関係や周辺市街地の状況等について確認作業を進めており、また、重点区域において実施する事業については、既に市内での説明会を行い、事業所管課と調整しながら、事業の洗い出しを進めているところである。

今後は、歴史的風致の具体化と併せて、重点区域の範囲や実施する事業について詳細な検討を進めていく。

(質問・意見)

## 下平委員

鎌倉という土地柄、掘れば遺跡が埋まっているというお話が、いつも出てくる。回答は今でなくても構わないが、その辺のことを根本的に伺いたい。将来的に考えると、どんどん積み重なって全て遺跡になっていくわけで、今の時代の私たちのものも、やがて遺跡になっていく。その辺りはどこまで守らなければいけないのか、分からない。

### 歴史まちづくり推進担当担当次長兼文化財部次長

ただいまのご質問は、鎌倉市にとっては非常に大きな課題と考えている。埋蔵文化財は文化財保護法によって保護が図られていて、開発等でそれが壊れてしまう場合には、きちんと発掘調査をして、記録として保存していく。あるいは、非常に重要な遺跡が見つかった場合には、事業者と協議をして、保存を図る。具体的には、史跡指定などを行っていくということになるかと思う。歴史まちづくりの関係から申し上げますと、そういった文化財保護の視点で行いつつ、保存された遺跡をまちづくりに生かしていく。どのような形で整備するか、町の中の風景として位置づけていくかといったことが、課題になってこようかと思う。

我々としても、今、永福寺跡の整備事業を目に見える形でということで進めていて、こういったことも、歴史的風致を構成する一つの要素として位置づけていくことになるかと思う。いずれにしても、委員がご指摘のように、非常に息の長いというか、継続的に取り組んでいくべき課題と捉えている。

### 山田委員長

歴史的風致に該当する時代は限定されているのか。

### 歴史まちづくり推進担当担当次長兼文化財部次長

どうしても鎌倉というと、源頼朝以来の中世の時代がメインになるが、実は、鎌倉の歴史は今現在まで綿々と続いていて、それが重層的に混じり合っているのが特徴だと考えている。したがって、中世から現在までという幅広いタイムスケールの枠で考えていくべきというふうになっている。

### 齋藤委員

たくさんのお話し合いを続けていかなければならないし、有識者の方、いろんな経験をされた方と煮詰めていかれることはよく分かるが、そこに町内会、市民の方々、そういう人たちの声もとても大事なことだと思うので、重要な声として受けとめていただければありがたいと思う。

### 朝比奈委員

あまり公平なコメントができないかもしれないが、立場上、控えていたのだが、いつの時代に歴史を設定するかというのは、地域によって違うというのはよく分かる。お屋敷が多いところは、明治以降のお屋敷文化かもしれないし、社寺に関して申し上げますと、鎌倉時代というより室町ぐらいのものだろうと思う。

どなたが訪れても鎌倉らしい町並み、特に小町通りは商業関係の方がごちゃごちゃに入っているのです、せめて、ここに来たら鎌倉らしいと。京都、奈良、あるいは、江戸時代の町並みを残している宿場町だったり、ごく短い距離の通りかもしれないけれども、そこに来るとタイムスリップしたかのような体験ができる。そういう場所が、鎌倉はお寺の境内でも入らない限りない。そこはいつも残念だと思っている。市の財政の問題もあると思うが、商業関係者の方の意識改革もしなくてははいけないと思う、ある一角でもいいから、誰が見ても感激



できるまちづくりができれば嬉しいと思う。

私は今、ここには教育委員の立場にいるから、お寺の和尚の立場としての発言は不適切だと思うけれども、お寺を管理している我々も、遺跡と言われてしまうと今後の発展を阻害されてしまうような気がして、抵抗する気持ちが湧いてしまうということも考えに入れていただいて、より良い歴史の発展を重ねていきたい。ひいては、それが子どもたちの教育、あるいは大人の方々の生涯教育にもきちんとつながるように、そして観光振興にも発展するような、すばらしいまちづくりをお願いしたいと思う。

### **歴史まちづくり推進担当担当課長**

この向上計画は、世界遺産登録とは違って、鎌倉の顕著な普遍的価値を証明するというわけではなく、委員がおっしゃったとおり、人々の心に残るような風景を維持・向上していくという計画である。一角でも、それがまさしく歴史的風致ということで、我々は検討を進めているところなので、その風致が守られるよう、努力してまいりたい。

### **下平委員**

勘違いでなければ、鎌倉に1年で2,300万人ぐらいの観光客の方がいらっしゃると記憶している。昨年30周年だった東京ディズニーランドは、昨年1年間で2,700万人と、負けている状態なのである。ぜひ、それを超える多くの方に感動を与えるような町になればいいなと感じている。

これは良い機会なので、小・中学校でも、市民の声の一環として、どんな鎌倉に、どんなまちづくりをしたいか、社会の中で話し合いみたいな時間を設けて、未来を担う子どもたちの声も少し反映できたらすてきかなと、ちょっと感じた。

### **山田委員長**

私も両委員のご意見に本当に賛同する。

(報告事項イは了承された)

### **報告事項ウ 行事予定(平成26年9月17日～平成26年10月31日)**

### **山田委員長**

報告事項のウ「行事予定」について、特に伝えたい行事等はあるか。

### **教育部次長兼教育総務課担当課長**

学習センターでは、腰越、深沢、大船、玉縄の各生涯学習センターでフェスティバルを開催する。学校行事としては、中学校音楽会、学校へ行こう週間、小学校陸上記録大会を予定している。その他、図書館でのファンタスティック☆ライブラリー、文化財課の郷土芸能大会など、記載のと通りの行事を予定している。

(質問・意見)

### 安良岡教育長

せっかくなので、今紹介があった学習センターのフェスティバルや郷土芸能大会、図書館のファンタスティック☆ライブラリー、国宝館の特別展について、紹介していただいたらどうかと思う。

### 生涯学習センター所長

生涯学習センターフェスティバルは、鎌倉生涯学習センターを初め、各地域に設置されている生涯学習センターを利用する団体やサークルが一堂に会して、日ごろの活動成果を発表することで、利用団体の質の向上や相互の交流を図ることを目的にしているもので、ひいては、生涯学習活動が、フェスティバルを通して多くの市民に広がることを目指して、毎年度開催しているものである。

実際に、運営主体は行政ではなく、参加団体の代表者で実行委員会を組織して、行政としては、専ら開催場所の提供や開催の準備のお手伝いをしている状況である。各所でさまざまなイベントが行われる。写真や折り紙、絵手紙の展示を行ったり、ホールのあるところでは、楽器の演奏や歌唱の発表会が行われたり、そういった形で、各所で利用している団体の発表会という位置づけで行われているものである。

### 文化財課担当課長

鎌倉郷土芸能大会は、10月26日、生涯学習センターのホールをお借りして、鎌倉地域に伝わるなどの郷土芸能を団体ごとに発表するという企画である。長年、鎌倉に伝わるいろいろな郷土芸能についてご紹介するので、ぜひ、お越しいただければと考えている。

### 中央図書館長

10月25日から11月5日にかけて、ファンタスティック☆ライブラリーを開催する。市内各図書館、各学習センターをお借りして、図書館に係わりのある団体の方とともに、図書館と開催していく。

大震災の展示というのは、去年、結構お客さんがいらした関東大震災と鎌倉の展示を小さくコンパクトにして、大船行政センターで行うものである。あと、玉縄の学習センター、玉縄図書館で、紙芝居に関しての実演、講演、展示等をやっていく。真ん中に、鎌倉街道ライブラリーカフェと書いてあるが、こちらに関しては、鎌倉街道を実際に歩かれた方がいらっしゃって、その著者を囲んでお話をする会をしていきたいと思っている。

ぜひ、委員の皆様もお時間があれば、来ていただければと思う。

### 鎌倉国宝館副館長

既に、9月12日から国宝鶴岡八幡宮古神宝展を開催させていただいている。こちらの展示については、毎年9月の例大祭、昨日まで挙行されていたが、こちらにあわせて、鶴岡八幡宮の代表的な神道美術についてご紹介する、毎年定例で実施しているものである。今年も国

宝を中心とした作品を展示させていただいているが、今年は、特に例年とは趣向を変えて、一部の展示の中で江戸時代から近代にかけての鎌倉の絵図をご紹介していて、その中で、鶴岡八幡宮が常に鎌倉の中心であり続けている、そういった形を実際の作品を通じてご確認いただけるコーナーも設けている。

#### 山田委員長

今、お話に出た鶴岡八幡宮の例大祭で、私の教えている子どもの稽古の会で、日曜日に茶席を設けた。今年はお天気も良かったので、150人の予定が340人いらっしやって、2回もお菓子を買いに走った。その方々にも国宝館があるにご紹介して、よろしかったらお運びくださいとお話ししておいた。

(行事予定報告はそれぞれ了承された)

#### 山田委員長

そのほか、委員の皆様から何かあるか。

ないようなので、以上で本日の日程は全て終了した。これで9月定例会を閉会とする。